

野田市新エンゼルプラン（次世代育成支援対策行動計画）の特定事業進捗状況

事業名		事業内容	16年度 現状	17年度 実績	18年度 実績	19年度 実績	21年度まで の実施予定	21年度 目標事業量	
通常保育事業		保護者の就労等により就学前児童の保育を行う事業。民間活力（民間保育園の誘致等）を導入して受入児童数の拡大を図る。	市全体定員 （入所実績）	1,580人 （1,790人）	1,580人 （1,833人）	1,640人 （1,936人）	1,640人 （1,905人）	1,760人	1,930人
			内民間定員	60人	60人	120人	120人	240人	250人
延長保育事業		保護者の就労条件等により通常の保育時間を超えて保育を行う事業。需要動向を見極めつつ、実施数を検討する。	13か所	13か所	14か所	14か所	16か所	13か所	
休日保育事業		日曜・祝日の休日の保育需要に対応する。需要動向を見極めつつ、受入定員を増加していく。	20人	20人	20人	40人	40人	40人	
病児・病後児保育事業	施設型	病気又は病気回復期にあって、保護者の就労等により家庭で育児が困難な児童を施設で保育する。定員については、需要動向を見極めつつ対応する。	4人	4人	4人	4人	4人	4人	
	派遣型（訪問型一時）	保護者が病気になった場合などに一時的に児童の居宅に保育士等を派遣して保育を行う。	未実施	未実施	実施	実施	実施	実施	
ファミリー・サポート・センター事業		育児支援を受けたい人と行いたい人を会員とする組織により、保育所までの送迎、保育所閉所後の一時的な預かり等育児についての助け合いを行う。今後は会員数の拡充を図る。	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
放課後児童健全育成事業（学童保育所）		保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校低学年児童に対し、下校後学童保育所において適切な遊びと生活の場を提供する。全小学校区への整備を完了し、今後は民間活力を導入しながら、受入数の拡大を図る。	定員 （入所実績）	720人 （650人）	760人 （707人）	800人 （808人）	800人 （892人）	840人	995人
ショートステイ事業		児童を養育している保護者が病気等の理由により、家庭での養育が困難になった場合に児童養護施設等で一時的に養育する事業。需要動向を見極めつつ、後期計画で検討する。	—	—	—	—	—	—	
トワイライトステイ事業		児童を養育している保護者が就労等で恒常的に帰宅が夜間にいたる場合や休日に不在の場合などに児童養護施設等で夕方から夜間、休日に養育を行う。需要動向を見極めつつ、後期計画で検討する。	—	—	—	—	—	—	
一時保育事業		保護者の傷病等や私的な理由により保育所で一時的に児童を保育する事業。民間保育園での整備を促進する。	9人	9人	9人	9人	31人	43人	
特定保育事業		保護者の短時間就労等により保育所で断続的に児童を保育する事業。需要動向を見極めつつ、後期計画で検討する。	—	—	—	—	—	—	
地域子育て支援センター事業		子育て不安に対する相談・指導や育児サークルへの支援等地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。地域的なバランスに配慮しつつ、民間保育園等での整備を促進する。	2か所	2か所	2か所	2か所	3か所	4か所	
つどいの広場事業		主に乳幼児を持つ子育て中の親が、打ち解けた雰囲気の中で気軽に集い交流するとともに子育ての相談に応じる。	0か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	